

主題：天の王国の実際の中に生きる

メッセージ 4

人の心の中での、王国の神聖な種の成長は神の建造のためである

聖書： I テサロニケ 3:13. 箴 4:23. マタイ 13:3-9, 19-23

- I. 聖書によれば、成長は建造と等しいです。建造は、わたしたちの内側の王国の種である、命の神聖な種の成長によって起こります—— I ヨハネ3:9. コロサイ2:19. エペソ4:15-16. マルコ4:26. ルカ17:20-21 :
- A. エペソ第 3 章 17 節は、三一の神がわたしたちの中へと入って来て、要素としてのご自身と、材料としてのわたしたちからのものをもって、建造の働きを行なうことを啓示しています。このことは、マタイ第 13 章における種まく者のたとえによって描写されています。主は、命の種としてのご自身を、土壌である人の心の中へとまきます。それは主が彼らの中で成長し、生き、彼らの内側から表現されるためです——マタイ 13 : 3。
1. 道ばたは、世的な往来によってかたくなにされ、王国の言葉を理解し、把握するために、開くことができない心を象徴します。鳥は邪悪な者、サタンを表徴します。彼は来て、かたくなな心にまかれた王国の言葉を奪い去ってしまいます—— 4, 19 節。
  2. 土の多くない岩地は、王国の言葉を受け入れることで、心が浅いことを象徴します。そのような心の内側深くには岩、すなわち、隠された罪、個人的な欲望、自己追求、自己憐憫があつて、種が心の深みに根を下ろすのを妨げます—— 5, 20-21 節。
    - a. 焼けつくような太陽は、患難や迫害を表徴します (6, 21 節)。太陽の焼けつくような熱は、まだ根づいていない種を枯れさせます。
    - b. いったん種が根づくとき、太陽の熱は、作物の生長と成熟を促すためのものとなります。しかし、種に根がないために、生長させ成熟させるはずの太陽の熱は、その種にとって致命的な打撃となります。
  3. いばらは、時代の思い煩いと富の惑わしを表徴します。それは御言をふさぎ、心の中での生長を妨げ、実を結ぶことを阻止します—— 7, 22 節. ルカ 12:15-21。
  4. 良い地は、世の往来によってかたくなにされていない、隠された罪のない、時代の思い煩いや富の惑わしのない良い心を表徴します。そのような心は、その土地の隅々までを提供して、御言葉を受け入れるので、御言葉は成長し、実を結び、百倍も生み出すようになります——マタイ 13:8, 23。
- B. 土壌へとまかれた種は、土壌の栄養素をもって生長します。結果として、産物は、種と土壌の両方からの要素の構成です—— 23 節。
- C. わたしたちは、わたしたちの内側に、神によって創造された特定の栄養素を持っており、それは彼がわたしたちの中へと入って来て、わたしたちの中で生長するためのものです。神は、神聖な種のために、人の栄養素を伴った人の霊と、土壌としての人の心を創造しました——参照、 I ペテロ 3:4。
- D. わたしたちが命において成長する程度は、神聖な種にかかっているのではなく、わたしたちがどれだけ多くの栄養素をこの種に与えるかにかかっており、わたしたちが栄

養素を供給すればするほど、種はますます速く成長し、ますます繁茂します——詩 78:8. マタイ 5:3, 8。

1. わたしたちが、わたしたちの魂の中に、すなわちわたしたちの天然の人の中にとどまるなら、神聖な種の生長のための栄養素はまったくありません。しかし、わたしたちが、力をもって、わたしたちの内なる人の中へと増強されるなら、またわたしたちが、わたしたちの霊に注意を払い、わたしたちの霊を活用するなら、栄養素は供給され、キリストはわたしたちの心の中にご自身のホームを造ります——エペソ 3:16-17. ローマ 8:6. I テモテ 4:7. 参照、ユダ 19。

2. わたしたちが、命の種としての主をわたしたちの内側で成長させ、わたしたちの満ち満ちた享受としようとするなら、わたしたちは完全に主に開き、彼に協力して、わたしたちの心を徹底的に対処しなければなりません。

E. 一方で、神は要素としてのご自身をもってわたしたちを増強します。もう一方で、わたしたちは栄養素を与える必要があります。これらの二つの事柄を通して、キリストにある神は、わたしたちの全存在において、彼の内在的な建造、すなわち、彼のホームを建造することを遂行します——エペソ 3:16-19。

## II. 心は、人の内側の各部分の集合体であり、人の総代表、すなわち、人を動かす機関です：

A. わたしたちの心は、わたしたちの魂のすべての部分、すなわち、思い、感情、意志（マタイ 9:4. ヘブル 4:12. 使徒 11:23. ヨハネ 14:1. 16:22）と、それに加えて、わたしたちの霊の一部分、すなわち良心（ヘブル 10:22. I ヨハネ 3:20）から構成されています。

B. わたしたちの心と、神の御前でのその状態は、神の御前でのわたしたちの霊、魂、体の状態に、有機的に、内在的に、密接に関係しています。

1. わたしたちの心が活動するときはじめ、霊を活用することは役に立ちます。わたしたちの心が無関心であるなら、霊は内側で監禁され、その能力を現し出すことができません——マタイ 5:3, 8. 詩 78:8. エペソ 3:16-17。

2. 魂は、その人自身ですが、心は行動におけるパースンです。心は、わたしたちの全存在を動かす機関であり、行動の執行者です。

3. わたしたちの物質の体の活動と運動が、わたしたちの心臓に依存しているように、わたしたちの日常生活、すなわち、わたしたちが行動し振る舞う方法は、わたしたちがどのような種類の心を持っているかにかかっています。

C. 心は命の出入り口であり、命の「スイッチ」です。心が正しくなければ、霊の中の命は妨げられ、命の法則は自由に、妨げなしに働くことができず、わたしたちの存在の各部分に到達することはできません。命は大きな力を持っていますが、この大きな力は、わたしたちの小さな心によって制御されます——箴 4:23. マタイ 12:33-37. 参照、エゼ 36:26-27。

## III. わたしたちは、召会生活のための聖なる生活を生きるために、主にわたしたちの心を、聖別の中で責められるところがないよう堅固にさせていただく必要があります——I テサ 3:13:

A. 神は変わることはない方ですが、わたしたちの天然の誕生によれば、わたしたちと他人との関係と、わたしたちと主との関係の両方において、わたしたちの心は変わることがあります——参照、II テモテ 4:9-11。

- B. 人の天然の人性の命によれば、だれ一人として、心において堅固である人はいません。なぜなら、わたしたちの心は容易に変わり、まったく信頼するに値しないからです——エレミヤ 17:9-10. 13:23。
- C. わたしたちの心は責められ得ます。なぜなら、それは変わりやすいからです。変わることはない心は、責められることのない心です——詩 57:7. 108:1. 112:7。
- D. 神の救いにおいて、心の更新は一度限りです。しかしながら、わたしたちの経験において、わたしたちの心は継続的に更新されます。なぜなら、それは変わりやすいからです——エゼ 36:26. II コリ 4:16。
- E. わたしたちの心は変わりやすいので、それは聖別する霊によって継続的に更新される必要があります。それによってわたしたちの心は、聖となる状態の中で、すなわち、神へと分離され、神によって占有され、神によって所有され、神で浸透される状態の中で、確立され、建て上げられることができます——テトス 3:5. ローマ 6:19, 22。
- IV. わたしたちは、召会生活のための聖なる生活をするに於いて「聖別されつつある」者となるために、心に対処することによって、「聖別する方」の内なる活動に協力しなければなりません——ヘブル2:10-11. 詩139:23-24 :
- A. 神は、わたしたちの心が柔らかいことを願っています :
1. 神は、わたしたちの心に対処するとき、わたしたちの肉から石の心を取り除き、わたしたちに肉の心、すなわち柔らかい心を与えます——エゼキエル 36:26。
  2. 心が柔らかいことが意味するのは、わたしたちの心の意志が主に対して服従的であり、従順であり、頑固でなく、反逆的でないことです——参照、出 32:9。
  3. 柔らかい心とは、この世的な往来によってかたくなにされていない心です——マタイ 13:4。
  4. 神はご自身の愛を用いてわたしたちを感動させることによって、わたしたちの心を柔らかくします。もし愛がわたしたちを感動させることができなければ、神はご自身の御手を用い、環境を通して、わたしたちを取り扱い、ついにはわたしたちの心が柔らかくなるようにします——II コリント 5:14. 4:16-18. ヘブル 12:6-7. 参照、エレミヤ 48:11。
- B. 神は、わたしたちの心が純粹であることを願っています :
1. 純粹な心とは、神を愛し神を求める心です。それは神以外に、他の愛、傾向、願いを持ちません——詩 73:25. 参照、エレミヤ 32:39。
  2. わたしたちの心は、単一に神を求めるべきです。そうすればわたしたちは、神に対して罪を得ることと神の臨在を失うことだけを恐れます——詩 86:11. イザヤ 11:1-2。
  3. わたしたちの目標と目的は、神ご自身であるべきです。わたしたちは他のいかなる動機も持つべきではありません——マタイ 5:8。
  4. わたしたちは、「純粹な心で主を呼び求める人たちと共に」キリストを追い求めなければなりません——II テモテ 2:22. I テモテ 1:5. 詩 73:1。
- C. 神は、わたしたちの心が愛する心であることを願っています :
1. 愛する心とは、感情が神を愛し、神を求め、神を渴望し、神を慕い求め、神と個人的で、愛情に満ちた、私的で、靈的な関係を持っている心です——42:1-2. 雅 1:1-4。
  2. わたしたちは心を何度も何度も主に向け、心を絶えず新しくしなければなりません。

それはわたしたちが主に対して新しく新鮮な心を持つためです——Ⅱコリント 3:16.  
英文詩歌 546 番と 547 番。

3. 霊的な経験すべては、心の中の愛から始まります。もしわたしたちが主を愛さなければ、どんな霊的な経験も持つことができません——参照、エペソ 6:24。
4. 主に対するわたしたちの愛は、わたしたちを資格づけ、成就し、装備して、主の權威をもって主のために語らせます。もしわたしたちが極みに至るまで主を愛するならば、わたしたちは主で満たされ、主をあふれ流し出すでしょう——ヨハネ 21:15-17、マタイ 26:6-13、28:18-20。

D. 神は、わたしたちの心が平安であることを願っています：

1. 平安である心とは、良心にとがめがなく、罪定めがなく、責められるところのない心です——使徒 24:16、Ⅰヨハネ 3:19-21、ヘブル 10:22。
2. もしわたしたちが神の臨在の光の中で自分の罪を告白するならば、わたしたちは彼の赦しと清めを受けます。それによってわたしたちは、正しい良心をもって、神との絶え間のない交わりを享受します——Ⅰヨハネ 1:7, 9、Ⅰテモテ 1:5。
3. 祈りの中で神との交わりを実行した結果は、わたしたちが神の平安を享受することです。神の平安とは實際上、平安としての神が、キリストの中でわたしたちの心と思考のために歩哨に立ち、わたしたちを平静にし安らかに保つことです——ピリピ 4:6-7。
4. わたしたちは、キリストの平安にわたしたちの心を裁定していただき、互いに赦し合い、一人の新しい人を着る必要があります——コロサイ 3:13-15。

V. わたしたちの心が、聖別する霊の絶え間のない更新によって、確立され、聖別の中で責められるところのないものになりつつあるとき、わたしたちは神聖な命の新しさを持つ新エルサレムになりつつあり、また神聖な性質の聖を持つ聖なる都になりつつあります——啓21:2、Ⅰヨハネ5:11-12、Ⅱペテロ1:4、ヘブル2:10-11：

© 2015 Living Stream Ministry